

在セネガル日本国大使館月報

2025年4月

主な出来事

セネガル

(内政)

- 7日、ファイ大統領は IMF のアフリカ局長を迎え、セネガル政府の経済支援プログラムについて協議。8日、同局長はセネガル政府が財政の透明性を回復し、説明責任を果たすことに期待を示した。(9日 Le Soleil)

(日本関連)

- 25日、赤松武駐セネガル日本国大使の着任レセプションが開催され、セネガル政府を代表してサレ職業訓練大臣が出席。(2日 Le Quotidien)
- 29日、岩屋外務大臣はセネガルを訪問し、ファル外務大臣と会談を実施。また、同大臣はソッコ首相、ファイ大統領を表敬訪問。(5月2日 Le Soleil)

ガーボベルデ

- コレイア外務省経済協力開発局長は、東京で、JETRO理事長、JICAアフリカ部長、外務省アフリカ部第一課長、国際交流基金芸術文化部長らと会談。(17日 外務省Facebook)

ガンビア

- ガンビア政府は中国・黒竜江省との間で、水供給、スポーツ機材、眼下治療、人材育成等の分野での協力に関する覚書を締結。(29日 The Point)

ギニアビサウ

- 25日、中国新華社通信のギニアビサウ支局の開設式が開催された。(25日 ANG)

セネガル

(内政)

内政一般

- 4日の独立記念日を前に、ファイ大統領は国民向けメッセージを発出。そこで、政治システムの改革、社会の対話を進めていくことを宣言した。(4日 Le Soleil)
- 7日、ファイ大統領は IMF のアフリカ局長を迎え、セネガル政府の経済支援プログラムについて協議。8日、同局長はセネガル政府が財政の透明性を回復し、説明責任を果たすことに期待を示した。(9日 Le Soleil)

(外政)

二国間・多国間関係

- 4日の独立記念式典にバロウ・ガンビア大統領、ガズワニ・モーリタニア大統領、エンバロ・ギニアビサウ大統領、シェティマ・ナイジェリア副大統領が出席。(5日 外務省 X)
- 9日、セネガル・南アフリカ協力に関する合同委員会がダカールで開催され、ファル外務大臣、ラモラ南ア外務大臣が出席。(9日 外務省 X)
- 10日、ファイ大統領は、南アフリカのラモラ外務大臣を迎え、二国間関係について協議した。(10日

大統領府 X)

- ファル外務大臣は、14日、エチオピアを訪問し、財務大臣と面談。15日、ルワンダを訪問し、カガメ大統領を表敬訪問。16日、ウガンダを訪問し、財務大臣と面談。17日、タンザニアを訪問し、副大統領と面談。(14-17日 外務省 X)

日本関連

- 25日、赤松武駐セネガル日本国大使の着任レセプションが開催され、セネガル政府を代表してサレ職業訓練大臣が出席。(2日 Le Quotidien)
- 29日、岩屋外務大臣はセネガルを訪問し、ファル外務大臣と会談を行った。また、同大臣はソンコ首相、ファイ大統領を表敬訪問。(5月2日 Le Soleil)
- 29日、金子副報道官はプレスブリーフィングを開催し、TICAD9、大阪・関西万博、日・セネガル協力、国際関係等について日本の立場を説明。(29日 APS)

カーボベルデ

- 3日、モンテイロ外務大臣は、駐カーボベルデ露大使と会談。(3日 外務省Facebook)
- 国立統計研究所は、2024年の観光動態調査を発表。同年の総宿泊人数は約118万人(前年比16.5%増)、総宿泊日数は約565万泊(前年比9.7%)。(7日 Expresso das Ilhas)
- 国立統計研究所は、2024年のGDPを公表。7.3%の増加。(7日 Expresso das Ilhas)
- 9日、独立50周年記念祭実行委員会のダ・シルヴァ事務局長は、記念祭のプログラムを発表。4月25日にサン・ヴィセンテ島で開幕し、プライアでは7月5日の独立記念日を実施し、サル島エスパゴスで12月に閉幕する。(9日 Expresso das Ilhas)
- コレイア外務省経済協力開発局長は、東京で、JETRO理事長、JICAアフリカ部長、外務省アフリカ部第一課長、国際交流基金芸術文化部長らと会談した。(17日 外務省Facebook)
- カーボベルデは、2025年大阪・関西万博において、「海と風と太陽の力で、人々が形作る未来」というスローガンで出展を開始した。(14日 opais)

ガンビア

- 3日、外務省はWFPと食糧安全保障、栄養、レジリエンス構築に関するパートナーシップ協定(約9,520億米ドル)を締結。(7日 The Point)
- 米国国務省による大規模経費削減策の一環として、在ガンビア米国大使館が恒久的な閉鎖の対象となっていることが明らかとなった。(16日 The Point)
- ガンビア政府は中国・黒竜江省との間で、水供給、スポーツ機材、眼下治療、人材育成等の分野での協力に関する覚書を締結。(29日 The Point)
- ECOWAS投資開発銀行は、ガンビアの食糧安全保障の強化を目的に、1千億米ドルの借款を行うことを発表。(16日 Foroyaa)

ギニアビサウ

- 4日、エンバロ大統領はセネガルの独立式典に出席した。野党はエンバロ大統領の任期が切れていると認識しているため、同大統領を招待したファイ・セネガル大統領を非難。(7日 Walf Quotidien)
- エンバロ大統領は、中国企業「ルイ・マリン・フード社」による魚粉・魚油加工工場の開設式に出席。(15日 Radio Voz Do Povo)
- 野党指導者らは、パリで会合を開催し、11月の大統領選挙及び議会選挙について協議し、野党統一候補を立てるべく調整した。(29日 Walf Quotidien)
- 25日、中国新華社通信のギニアビサウ支局の開設式が開催。(25日 ANG)
- WFPは過去12か月間で食糧不安の状況に置かれた人が24%増加したと発表。(29日 ANG)

(注) 本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますので御了承ください。

(了)